

⑬ 出向者報告

(公社)日本青年会議所 組織グループ
ロールモデル推進委員会 副委員長 佐川 隆司

まずは本年度、公益社団法人日本青年会議所組織グループロールモデル推進委員会に副委員長として出向させていただきました菊田理事長に心より御礼申し上げます。昨年のブロック役員出向に続き、とても貴重な経験と成長をすることができたと感じております。ありがとうございました。

ロールモデル推進委員会では 3 名の VC がそれぞれの小委員会を担当し、私は第1小委員会担当委副委員長として、事業構築セミナーを全国の LOM で開催するという役職を担いました。コロナウイルスの影響により京都会議でのセミナー開催以降は開催数が減少しましたが全国24ブロックにおいてセミナーを開催することができました。また、LOM のロールモデルとなる事業構築のモデルを 10 項目に分け作成し、日本青年会議所のアプリから見ることもできる動画を作成することができました。自分が作成した議案を基に日本青年会議所の運動が動き、発信されていくという貴重な経験もすることができましたし、JCI の組織をよく見ることもできました。この経験を活かし、次年度以降の LOM の活動と運動に貢献し、メンバーの皆様にお返しさせていただく所存です。次年度もよろしく願いいたします。

(公社)日本青年会議所 組織グループ
ロールモデル推進委員会 委員 吉田 光徳

2020年度日本青年会議所 ロールモデル推進委員会に出向させていただきました。まずは出向の機会を与えていただきました菊田理事長をはじめとするメンバーの皆様、ありがとうございました。

日本青年会議所に出向という貴重な機会を頂いたのですが、コロナの影響や公私等があり殆ど参加できませんでした。しかし、テレビ会議で参加させていただいている際に、制限された中で、どう自分たちの活動・運動ができるかを協議していた全国各地の JC メンバーの姿は、自粛が続く先行きが見えない生活でしたが、励みとなりました。

私は、本年で卒業となりますが、今後の活動や生活にこの経験を生かして行きたいと考えております。一年間ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 組織グループ
組織改革会議 委員 榊原 昌寛

組織改革会議議長から 2019 年 12 月上旬頃お電話で出向依頼のお話があり、ロムの役割や出向に関して組織人事を決めるのは理事長なので、この話しは理事長にお伝えをします、と言って電話を切りました。そして、後日理事長にお会いした時に、行ってきて下さいとお話し頂きましたので、出向の機会を得ました。

卒業年度に日本青年会議所に出向する機会を得て、日本各地で開催される月1回の委員会は毎回出席しようと当初考えていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月以降 Webでの月1回の委員会開催が増えていきました。

この会議体は、石田会頭の一丁目一番地の方向性であった、今までの歴史・伝統を大事にしてアップデートしながらも時代に即して組織を改革していくんだとの会議体でありました。ただ、新型コロナウイルス拡大の情勢により、当初の方向性を順調に進めていくことはなかなか叶いませんでした。この委員会で私の一番の思い出は、Web 開催に切り替わった全国大会メインフォーラムを当会議体が企画運営することになり、(株)アイリスオーヤマを社員5名で先代から引き継いで会社を世界的企業に成長させた大山会長の講演を、宮城県にあるアイリスオーヤマの会社に行き収録し、そして大山会長が我々の控室にも来て約1時間大山会長と談話したことであります。

日本青年会議所は、通常年ですと1月に京都会議・7月に横浜でのサマーコンファレンス・9月下旬か10月上旬頃に全国大会が開催されております。各分野の第一線で活躍されている方々のセミナーが多く設けられて、参加したら必ずや学びの貴重な機会となろうかと思えます。現役会員の皆様は、参加出来る権利がありますので、毎回は無理でも、出来る限りご参加頂ければきっと素晴らしい学びの機会になろうかと思えます。

出向の機会を頂きまして、メンバーの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区協議会
東北青年フォーラム運営委員会 委員 吉田 光徳

菊田理事長をはじめメンバーの皆様、東北青年フォーラムの出向の機会を頂きありがとうございました。本年は、コロナの影響もあり念頭に建てた活動・運動を実現するのが難しい年だったと思います。

東北青年フォーラムも、WEB開催となり活動という活動を実感しにくい年でありました。本年私は、卒業となりますが来年は、郡山が開催という事がありますので、何かございましたら率先して協力をさせていただきます。一年間大変お世話になりました。

(公社)日本青年会議所 東北地区協議会
東北ゼミナール委員会 委員 國崎 雅樹

今年度、公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会東北ゼミナール委員会委員に出向させて頂きました國崎雅樹です。当委員会では「東北を牽引するリーダーとしての矜持を持った人財」として1年間講座を受講しようとした最中、突如発生した新型コロナウイルスによる影響で、受講を断念せざるを得ない状況までに陥りましたが、持ちこたえました。

東北6LOMの方とWEBを通じてお会いすることになり、非常に残念ではありますが一生懸命受講させていただきました。内容としては、with コロナ及びアフターコロナについて閉校式まで熱く議論し、動画作成することが出来ました。ここまで一生懸命頑張ることが出来たのは菊田理事長をはじめといたします先輩方が後押しして頂いたからです。

1年間ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
財政局 次長 須藤 慎哉

初めに、本年度福島ブロック協議会 財政局にて活躍の場、学びの機会を与えて下さった菊田広嗣理事長をはじめとするメンバーの皆様、ありがとうございました。

出向というものに抵抗を感じていた自分ではありますが、同期理事長のお誘いもあり、今年で3回目となる出向をさせて頂きました、財政局は影の存在のような目立たないポジションのようでありながら、非常に重要な役割を果たさねばいけない事が、今回の出向で分かりました。

本会計の予算管理は勿論その他にも各委員会の予算、事業の中身、までも管理するということで、毎度毎夜遅くまで、監査担当役員を交えての財政審査会議が40の体に答えましたが、他LOMのメンバーと多く知り合うことが出来、友情を育む事が出来ました。財政審査会のメンバーの皆様、大変お世話になりました。辛い中での楽しい1年間をありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
ふくしまの未来創造委員会 副委員長 石橋 宏章

今年度、福島ブロック協議会ふくしまの未来創造委員会副委員長として出向させて頂きました。ふくしまの未来創造委員会では4つの公益事業を計画し、私は副委員長として JC カップ、メインフォーラムの議案書作成を担当しておりました。しかし、計画されていた事業がコロナウイルス感染拡大の影響で白紙になりました。その代替事業としてブロック大会実行委員会と合同で、ふくしまフォトコンテスト、コロナ禍における経営人材育成セミナーを Weeb にて開催しました。コロナ禍で事業が白紙になったこと、また、コロナ禍でも出来る事業を計画し開催できたことは有事における混乱があっても JC としてしっかりと役割を果たすという意味で、とても貴重な経験ができたと思います。非常に悔しい思いをした1年間の出向でしたが、出向して学び得た事をしっかりと LOM の活動に落とし込んで参りたいと思います。

結びに菊田理事長をはじめとするメンバーの皆様にお支えを頂いて出向を務める事が出来ました。衷心より御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
ふくしまの未来創造委員会 幹事 國分 久徳

今年度、ふくしまの未来創造委員会へ幹事として出向をさせて頂きました。新春の集いより事業が始まり、講師セミナーを行い社会福祉協議会と青年会議所の関わり、これまでの実績や今後の展開を発信することができました。以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Webを活用し会議・事業構築を行いました。ブロック大会も縮小となりブロック大会実行委員会と共同で、ふくしまの魅力発信写真コンテストを行い、県内から多数の応募があり福島の魅力を発信できたと考えます。本来であれば、公開討論会や対外事業をつかさどる委員会ですが、参集・動員に制限がかかるといった苦渋の判断を迫られた一年であったと思います。新しい生活様式をどのように組み入れ事業を行うかが、今後の課題と思います。一年の活動を通して、今後の参考にさせて頂きます。一年間有難うございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
ふくしまの未来創造委員会 委員 溝井 雄一

今年度、福島ブロック協議会ふくしま未来創造委員会の委員として出向させていただきました。新型コロナウイルスで日々の生活や仕事環境は変化し、様々な運動・活動自粛の一年となりました。自身の参加出来た事業は少なく、力になれませんでした。が困難にも立ち向かっていく JC メンバーの姿を目の前に自分たちの目指すべきところは何かを見つめなおし、どう福島未来へ繋いでいくかを改めて思い返す機会となりました。

私も高い志は自粛せず今後の運動・活動に生かしていきたいと思っております。今回、このような機会を与えて頂いた菊田理事長始めメンバー皆さまに感謝申し上げます。出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
ブロック大会実行委員会 委員 榊原 昌寛

組織人事を決める菊田理事長からブロック大会出向のお話を頂き、出向させて頂きました。ブロック大会は、2008年度にもとみやで主管したのを主管ロムの現役会員として経験をし、翌2009年度に浪江主管大会に出向しました。11年ぶり2度目のブロック大会出向となりました。

当初、2020年度のブロック大会がどこの LOM で主管するのも知らない程、青年会議所に対する熱量はなかったのですが、ブロック大会役職・スタッフの方々から年初お電話頂き、熱意あるお話を頂き、約月1回の委員会にはほぼ毎回出席させて頂きました。ただ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、委員会は4月以降 Web での開催が増えていき、ブロック大会もメインフォーラム・懇親会は中止、式典は事前に収録をして福島ブロックメンバーに配信致しました。

2008年度もとみやで主管した際は、県北4JC メンバーに多大なる支援協力頂いたのを記憶しております。2022年度は、スポンサーJC の(公社)二本松青年会議所が主管予定ですので、もとみや JC として出来る限り最大限に協力して頂けることを望みます。そして、次に県北地区にブロック大会の順番が回ってきた時は、もとみやは主管やって頂けますかと話しがきつとあろうかと思っております。過去、もとみや JC はブロック大会を2回主管した歴史(1991年・2008年)があります。まだ数年先の話ではありますが、3回目の主管はどうするのか、現役メンバーで少しづつご検討頂けたならば幸いです。

出向の機会を頂きまして、メンバーの皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
アカデミー委員会 委員 吉原 雄二

本年度、福島ブロック協議会アカデミー委員会に委員として出向させていただきました。

アカデミー委員会では、出向メンバーが3つのグループ(塾)に分かれ、仮想のLOMとして組織改革論をテーマに1年をかけて議論し合うことを主な活動として行ってきました。

最終的には組織改革に関する提案プレゼンを録画して各LOMに共有し、諸先輩方から貴重なフィードバックをいただくことができました。

本年度はコロナ禍において、直接集まることが難しい状況ではありましたが、逆にリモートで時間・場所を効率化することで、より多くの塾会議を開催して議論を交わし、メンバーとの絆を深めることができました。

菊田理事長をはじめとするもとみやJCメンバーの皆さま方には、貴重な機会をいただきましたこと深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
アカデミー委員会 委員 佐藤 智哉

今年度、福島ブロック協議会アカデミー委員会委員として出向させていただきました。JCに入ってから間もなく、社会人としての経験も浅い私にとって、非常に関心の高い委員会でしたが、ほとんど出席することができませんでした。せっかくいただいた成長の機会を生かすことができず、大変申し訳ございませんでした。

ただ少ない時間ではありましたが、話し合いなどで他LOMから出向したメンバーと意見を交わす機会がありました。同世代のメンバーからLOMの活動や地域での取り組み、社業のことなどの話を聞く中で、自己成長につながる刺激を受けることができました。経験させていただいたことは今後のJC活動に活かしていきたいと思います。

貴重な経験をさせていただいた菊田理事長をはじめ、メンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。